

公務員試験合格の卒業生が体験談



▲ 真剣な表情で講演に耳を傾けるご父母たち

菅沼堅吾育友会長は「リーマン・ショック以降、経済状況が一変し、就職活動は厳しくなりました。また就職活動自体が、大きく変わってきており、アドバイスを送るのも難しくなっています。昨年、次男の就職活動の際、この会を通じて、この状況を解説し、就職活動のサポートに力を尽くしていただきました。この会を通じて、この状況を解説し、就職活動のサポートに力を尽くしていただきました。この会を通じて、この状況を解説し、就職活動のサポートに力を尽くしていただきました。」



▲ 企業の視点から語る大場氏

大場氏は「まずは1次の面接で、川崎市職員として宮前区役所に勤務する小山内大輔さん(平22)の話を紹介しました。卒業生の体験談では、川崎市職員として宮前区役所に勤務する小山内大輔さん(平22)の話を紹介しました。卒業生の体験談では、川崎市職員として宮前区役所に勤務する小山内大輔さん(平22)の話を紹介しました。」

育友会主催「就職懇談会」

3年次生ご父母中心に、学生含む250人が出席



▲ 菅沼育友会長



▲ 最新のデータを示しながら就職活動について解説する船橋就職部長

合宿研修など充実の支援「オール専修」でサポート

菅沼育友会長は「リーマン・ショック以降、経済状況が一変し、就職活動は厳しくなりました。また就職活動自体が、大きく変わってきており、アドバイスを送るのも難しくなっています。昨年、次男の就職活動の際、この会を通じて、この状況を解説し、就職活動のサポートに力を尽くしていただきました。」



▲ 公務員試験の体験を語る小山内さん

「面親に手伝ってほしいポイント」という問いに、野崎さんは「自己分析の段階で、事前準備の段階で、長代理の大場氏や、野崎さん自身も、この時期に取組むべきことを話した。野崎さんは「自己分析の段階で、事前準備の段階で、長代理の大場氏や、野崎さん自身も、この時期に取組むべきことを話した。」



▲ 内定を得た学生4人によるパネルディスカッション

この意義を一緒に考え、視野を広く持つようなアドバイスを」と述べた。最後に、船橋次長がコーディネーターを務め、内定を得た学生によるパネルディスカッションが行われた。野崎翔子さん、塩田淳史さん、石川卓弥さん、島俊一さん(9面参照)の4人が、1年前のこの時期に取り組んでいたこと、面接の内容、失敗談などを話した。

「自己分析」「数より質」

就職活動の基本は……

「自己分析」「数より質」が就職活動の基本。最新のデータを例示しながら、活動をサポートします。最新のデータを例示しながら、活動をサポートします。最新のデータを例示しながら、活動をサポートします。」

「面親に手伝ってほしいポイント」という問いに、野崎さんは「自己分析の段階で、事前準備の段階で、長代理の大場氏や、野崎さん自身も、この時期に取組むべきことを話した。野崎さんは「自己分析の段階で、事前準備の段階で、長代理の大場氏や、野崎さん自身も、この時期に取組むべきことを話した。」

暑さを乗り越え「内定」つかもう

就職課スタッフが応援しています

『就職のプロ』

就職課を活用して……

「就職水河期の再来」とも言われる4年次生の就職活動。6月2日から4日にかけて生田キャンパスで開催した「学内企業説明会」には延べ約900人の参加があり(昨年は約500人)、「チャンスを見逃がさず、新たな出会いを得たい」という積極的な学生が多く見受けられ、企業側からも高い評価を得た。



▲ 積極的な専大生の評価が高かった学内企業説明会

就職課スタッフは、「マイナビやリクナビなどの就職サイトに掲載されている大手企業のエントリー受付が終了すると、どのように活動していくか分からず、就職活動をやめてしまう学生がいますが、採用活動は終わったわけではありません。夏採用や、専大生だから採りたい」という企業も多いです。こういったときこそ、『就職のプロ』就職課を活用してください。」

就職課には、毎日多くの企業が来校しています。「S-net」に最新情報を掲載していますので、今更に興味があつた業界でも研究してみてください。あきらめずに好奇心を持って研究を続けていくうちに、新たな視点で、「企業」を見ることができるようになります。

面接は「非言語」部分が大切。面接対応もその一つです。自己PRでは、自分が持つ「人間力」を、志望動機では「入社意欲」を、面接官に分かりやすく、論理的に伝えることももちろん大切です。しかし、実は面接での評価は「非言語(ノンバーバル)」な部分の比重も高いのです。立ち居振る舞い、表情の変化、目の動き、そして声の大きさ……。話し手の印象は、言葉以外の非言語的要素で約9割決まってしまうと言われています。これらは一夜漬けでは身につけません。模擬面接で自分の第一印象を再確認することも重要です。また、元気がなくなってしまうときには、ぜひ、就職課を頼ってください。精神的なサポートも私たちの大切な仕事です。「誰かに話すこと」でいつもの自分に帰れる。そんな場所でありたいと思っています。

4年次生へ



▲ 就職課スタッフの親身な個別相談



▲ 外部講師による公務員試験の模擬面接



▲ 就職課スタッフの頼もしいサポート

「誰かに話すこと」でいつもの自分に帰れる。そんな場所でありたいと思っています。